

これからの印刷を考え、 環境性能の高いLED照明を採用。 従業員の環境意識も深まりました。

シャープ三原工場で行われたLED照明の説明会に参加し、興味が深まり、新社屋建設をきっかけに、現在進行中の環境保護印刷への取り組みをさらに深めたいと考え、導入を決定しました。



■導入企業



前川印刷(株)さま

- 広島県 / 広島市
- 1968年(昭和43年)設立
- 従業員数 20名

■導入商品

- スクエア型 昼白色 天井埋込型DL-A001N × 2台(工場内)
- ダウンライト 150形 昼白色DL-D007N × 24台(工場内)
- ストレート型 昼白色DL-D006N × 6台(工場内)
- ソーラー・LED 照明灯LN-LX1 × 1台(屋外駐車場)

こんなソリューションを実現しました

Before

導入前(課題)

1

通常の照明は、消費電力が大きいので、コストだけでなく環境への負荷が大きいと考えていました。

2

蛍光灯の場合、虫が集まりやすく、インクに虫が付着するなど、作業トラブルになりかねませんでした。

3

近辺に街灯が少なく、夜間の治安が思わしくありませんでした。

After

導入後(効果)

1

LED照明は、白熱電球と比べて約80%(ダウンライト)、蛍光灯(40W相当FLR管2本)と比べて約25%(ストレート型)も消費電力が削減できました。

2

LED照明の光は虫が集まりにくいので、安心して作業できます。

3

太陽光を利用した屋外用LED照明灯は、暗くなると自動的に点灯するため、夜の治安向上に役立ち、近辺の住民に安心をもたらしてくれています。

■インタビュー



前川印刷株式会社
代表取締役 清川義忠様

前川印刷株式会社
専務取締役 清川典史様

以前から環境を考えた印刷に取り組んでいました。

現在、業界団体「環境保護印刷推進協議会」の会員として、環境を考えた印刷技術の向上に積極的に取り組んでいます。LED照明もそうした環境保護印刷活動の一環として導入しました。

LED照明の導入は、高い買い物ではなかったと思います。

印刷機と同様、コストよりも信頼性を優先して選びました。価格だけで判断すると、結局“安物買いの銭失い”になりかねません。LED照明については、シャープより説明会や営業担当の方からの説明を十分に受け、信頼性の高い商品と判断しました。インシヤルコストは大きいのですが、電気代は蛍光灯の約4分の1に抑えられます。

また、屋外のソーラー・LED照明は太陽エネルギーを使用しているため、電気代がいっさいかかりません。総合的に見て、高い買い物ではなかったと思っています。

環境意識は、会社の枠を超えて広がっています。

少し前から、打ち合わせコーナーにLED照明の電球を実物見本として置いて、来訪者の目の前でスイッチをON/OFFし、実体験してもらっています。明るさや熱が出にくい点など、LED照明の良さがよくわかると好評です。そういう影響もあってか、自宅でも積極的にLED照明を使用する従業員が出てきました。もともと従業員の環境意識は高かったのですが、やっぱり実物の強みですね。



虫が集まらない光は、安心できる光でした。

以前の工場は、通常の照明だったので夏場など、照明の光に虫が集まってくるがありました。印刷会社ですので、工場内に虫などが入って、インクに付着したり紙と紙の間にはさまったりすると、大きな問題になりかねませんでした。しかしLED照明ではそんな心配はいっさい不要。この夏も一匹も虫が集まらず、安心して作業することができました。

手間なし、電気代なし、しかも地域社会にも貢献。

駐車場には、ソーラー・LED照明灯を設置しました。太陽光パワーだけで作動しますので、電気代がかからないというメリットも大きいのですが、何よりも暗くなると点灯し、明るくなると自動で消灯する便利さがうれしい。また、この辺りは、もともと街灯が少なく商店などが消灯すると、夜は真っ暗でした。最近では、街灯代わりになって夜道も安心して歩けると地域の方から喜んでいただいています。

